

日 誌 (昭和42年12月)

【国 内】

- 1日 ○本行、ニューヨーク連銀とのスワップ取決め額を4億5千万ドルから7億5千万ドルに拡大
- 27日 ○税制調査会、昭和43年度税制改正案を政府に答申
- 29日 ○政府、「昭和43年度の経済見通しと経済運営の基本的態度」を閣議了解
- 政府、昭和43年度予算編成方針を閣議決定(「要録」参照)

【海 外】

- 1日 ○香港の英系3行、プライム・レートを引上げ(7.5→8.0%)
- 韓国、農漁村開発公社発足
- 8日 ○西ドイツ、「景気委員会」開催
- ネパール、ネパール・ルピー平価を切下げ(24.9%)
- 12日 ○米国、41億ドルの歳出カット法案成立
- 15日 ○ニューヨーク連銀、B I Sおよびスイス国立銀行とのスワップ取決め限度額の増加(各150百万ドル)を発表
- ロンドンをはじめ欧州主要金市場における金需要、ポンド切下げ以来の最高に達する
- フランス、高率適用制度等を改正(21日から実施)
- スウェーデン、公定歩合を引上げ(5.0→6.0%)
- 16日 ○米国のファウラー財務長官、マーチン連邦準備制度理事会議長、「ロンドン市場における金取引は、欧州諸国と協力して従来どおり継続する」旨の共同声明を発表
- 18日 ○E E C閣僚理事会、英国などとの加盟交渉開始を見送る
- 英国、南アフリカ連邦向け武器禁輸続行を決定
- 19日 ○デンマーク、公定歩合を引上げ(6.5→7.5%)
- 28日 ○米国連邦準備制度理事会、預金準備率の一部引上げを発表
- 30日 ○フィリピン中央銀行総裁に、カララン前経済審議庁長官就任